

【事業者向け】放課後等デイサービス評価表（平成30年度）

		チェック項目	はい	どちらでもない	いいえ	ご意見
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	3	2	0	基準は満たしているが、利用人数が多い日は手狭に感じることもある。 しかし、活動内容によって、室内での支援と室外での支援を分けているため、今のところ支援に影響はない。
	②	職員の配置数は適切であるか	5	0	0	
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	3	2	0	トイレに手すりを設置すること、畳部屋へ入る際の段差にスロープを設置できるとさらに良いが、今のところ支援に支障はない。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	5	0	0	
	⑤	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5	0	0	
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5	0	0	
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	0	0	5	第三者評価は行っていない。 今後、第三者委員会の設置も含めて検討していく必要がある。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5	0	0	
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	0	0	
	適切な支援の提供	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5	0	0
⑪		活動プログラムの立案をチームで行っているか	5	0	0	
⑫		活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4	1	0	保護者様や利用児の意見も取り入れつつ、スタッフミーティングの中で活動を考えている。休校日の行事は充実しているが、平日のプログラムをさらに充実させていきたい。

適切な支援の提供	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	4	1	0	平日のプログラムと休日のプログラムの位置づけを職員間で共有できている。 現在は平日のプログラムのさらなる充実に向けて取り組んでいる。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	4	1	0	個別と集団の両面から支援計画を作成している。ただ、今のところ現場での支援では集団活動の割合が若干多いため、今後は個別支援にも力を入れていきたい。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5	0	0	
	⑯	支援終了時には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5	0	0	
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4	1	0	個別記録、日誌、行事計画等の記録を残しており、翌日のミーティングで振り返りを行っている。 記録の書き方、記録すべきポイントについては、研修等を通して質を上げていく必要がある。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5	0	0	
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	5	0	0	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5	0	0	
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	4	1	0	下校時刻や利用日の連絡調整については、保護者様を通して情報共有を行っている。送迎時の対応やトラブル発生時の連絡については直接学校と連絡をとることが多い。 支援についても、必要があれば積極的に情報を交換するよう意識している。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	-	-	-	現在、医療的ケアを必要とする子どもの利用はない。薬を服用している子どもはいるが、その子たちに関しては、保護者様を通して事業所での様子や、医師からの指示等の情報交換を行うよう心掛けている。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	5	0	0	
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	-	-	-	該当者なし。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4	1	0	支援センターが開催している研修にはできる限り参加している。 今後は権利擁護や虐待防止、防災に関する研修にも積極的に参加していきたい。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	5	0	0	行事を通して、障がいの有無や性別、年齢に関わらず、様々な人たちとの交流を図っている。「障害のない子ども」だけでなく「社会との交流」という幅広い視点で捉えている。

保護者への説明責任等	⑳	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	0	5	0	市内の放課後等デイサービス連絡会に参加している。(年4回開催)
	㉑	日頃から子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5	0	0	送迎時、連絡帳、定期面談等、保護者様とコミュニケーションをとりながら、お子様の様子や支援方針について情報交換を行っている。
	㉒	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	0	3	2	ペアレントトレーニングは実施していないが、子どもの表れに応じて必要な助言や情報提供、面談等は実施している。
	㉓	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5	0	0	契約時にご説明している。
	㉔	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	3	2	0	・基本的には児童発達管理責任者が対応している。 ・児童発達責任者に頼るだけでなく、指導員や保育士も保護者様とのコミュニケーションを意識することや、必要な知識を身につけていきたい。 ・スタッフ一人一人の経験を活かして、それぞれの視点から保護者様の悩みや相談に対応してくれている。
	㉕	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	3	2	0	保護者様も参加できる行事を実施している。3月に保護者会を実施する予定。また、行事や保護者会を実施する際には、保護者様の紹介や、アイスブレイクの時間を設けるなど、保護者様同士が関わりやすい環境を作っていきたいと考えています。
	㉖	子どもや保護者から苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4	1	0	苦情要望受付窓口を設置し対応している。苦情や要望があった際には、ミーティングにて対応を決定し、苦情要望報告書を作成している。
	㉗	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5	0	0	
	㉘	個人情報に十分注意しているか	5	0	0	
	㉙	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5	0	0	
非常時等の対応	㉚	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	5	0	0	
	㉛	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	4	1	0	緊急時対応マニュアルについては、契約時に書面にて保護者様への周知を図っている。感染症マニュアルと防犯マニュアルについては口頭での説明にとどまっているため、早急に書面での周知を徹底していきたい。
	㉜	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4	1	0	避難訓練は定期的実施している。今後は警察や消防署を交えた訓練も実施していきたい。
	㉝	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	3	2	0	虐待防止マニュアルを作成し、職員間での周知を図っている。虐待防止に関する研修等にも積極的に参加していきたい。

非常時等の対応	④①	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	0	5	0	現状、身体拘束を行う必要のある利用児はいないが、突発的に身体拘束が必要になった場合を想定して、身体拘束の記録を作成している。 虐待防止マニュアルの中に身体拘束に関するマニュアルも記載されている。
	④②	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5	0	0	
その他	④③	その他ご意見、要望などがあれば記入してください				